

平成28年度 大規模事業評価の結果の反映状況説明書

(行政活動の評価に関する条例(平成13年宮城県条例第70号)第11条第2項関係)

船形コロニー整備事業

- | | | | |
|---|-----------------|-------|-------|
| 1 | 要旨 | ----- | 1 ページ |
| 2 | 大規模事業評価の結果の反映状況 | ----- | 1 ページ |

平成28年9月
宮 城 県

この書面は、行政活動の評価に関する条例（平成13年宮城県条例第70号）第11条第1項の規定により、平成28年度に実施した船形コロニー整備事業に係る大規模事業評価の結果を平成28年度9月補正予算編成等に反映した状況について、同条第2項の規定により作成したものである。

1 要旨

船形コロニー整備事業の大規模事業評価について計画評価を実施した。

評価に当たっては、客観性を確保し、評価過程の透明性を高めるため、県民意見聴取を行ったほか、第三者機関である宮城県行政評価委員会（大規模事業評価部会）による調査審議と、同部会からの答申内容を踏まえて検討し、その結果、事業を実施することは適切であると判断した。

県では、こうした評価結果を踏まえて事業の実施方針について検討を重ね、平成28年度の事業内容を決定するとともに、必要な予算編成を行った。その概要については、次表のとおりである。

2 大規模事業評価の結果の反映状況

事業名	評価の結果	反 映 状 況		
		平成28年度 予算額(千円)	平成28年度 事業内容	備 考 (事業実施上の対応・検討状況)
船形コロニー整備事業	事業実施	20,316	設計者選定及び測量等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者一人ひとりの意思を尊重し、利用者主体の障害福祉サービスを提供できるよう利用者のニーズの把握や各種将来推計等について検討を行い、必要な機能を有する施設となるよう、施設整備及び運営方法等について、関係者と十分な調整及び検討を行う。 ○ 設計段階において、構造や各種性能を含めたライフサイクルコストを比較検討し、イニシャルコストとランニングコストを極力抑えた計画に配慮する。加えて、同一棟とする合築や高層化・多層階化を検討し、効率的な施設運営の視点にも配慮した検討を行う。 ○ 施設整備の検討に当たっては、施設の利用者及び施設職員等の意見を十分踏まえることとし、施設職員にとっても働きやすい施設とする。また、研修機能を新たに整備・拡充することにより、当施設及び県内の民間事業者と連携し、人材育成に努める。